

あさくらっこおめでとう



申込期間 1月生まれ(1月号)の申込は12月8日(金)まで

申込方法 ①メール(jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp) 写真データを添付し、子どもの氏名(ふりがな)・生年月日・住所・連絡先(保護者氏名)を明記。送信後、市人事秘書課(☎22-1117/平日8時30分~17時15分)へ電話してください。

②来庁 写真データを、市人事秘書課(本庁3階)または朝倉・杷木支所市民窓口係(1階)へ(USBメモリ不可)。

申込条件 満1~3歳の子どもが対象。定員18人(先着順)。申込多数の場合、満1歳の子どもを優先して掲載します。

前向き子育て 定期便 皆さんの子育てが少しでも楽しくなるように子育てケアアップを支援する「前向き子育て応援」。

誰だって子育て中は迷い悩みます。「なぜ?片づけない?」「なぜ?食べない?」「なぜ?下の子に意地悪する?」そんな日常の「なぜ?なぜ?」に、前向き子育てで「なるほど、そういうこと」と小さなスッキリ。前向き子育てプログラムの具体的な内容を定期的にお届けしていきます。

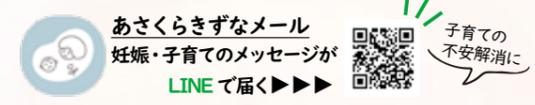
☎市子ども未来課(☎28-7568)

「お兄ちゃんだから我慢しなさい」こんな言葉をかけることはありませんか?

きょうだい間のセリフで「〇〇だけ、ずるいよ」「ママは、いつも〇〇の味方ばかり」「〇〇のほうが可愛いんだ」このような声があがると、子どもたちのケンカや口論が増えます。「お兄(姉)ちゃんだから我慢しなさい」の対応で子どもたちの仲が悪くなることもあります。

	感じること	継続すると……
上の子	・弟(妹)には優しくする ・自分は我慢する	・人に譲ることが身につく ・自分さえ我慢すれば解決すると思う ・自分の希望が言えない、言わない
下の子	・お兄(姉)ちゃんは、何でも許してくれる ・自分の主張は叶う	・人に甘えることができる ・望めば思い通りになると思う ・我慢ができない

このような状況になったら、子どもたちの関係性の力を育むための機会がきたと捉えましょう。例えば、「我慢する」「待つ」「交代」などをきょうだいで公平に教えていくのが大切です。「子どもたちが守れるルール」を考えます。そして、親が具体的に言葉で伝えて認めることで、子どもが良い行動だと理解するようになります。



12月の催し

母子健康手帳交付 「親子健康カレンダー」に年間予定も掲載

《市健康課》平日8時30分~17時
《杷木支所》13日(水)9時30分~11時30分

■持ってくるもの
妊娠届出書、マイナンバーと本人確認ができるものなど

子育て応援プログラム
※各教室とも、場所はピーポート甘木保健福祉センターです。参加時には、母子健康手帳が必要です。

マタニティクラス(母親学級)
■日時…12日(火)9時30分~12時 ※8日(金)までに要予約

■持ってくるもの…筆記具、エプロン

プレパママクラス(両親学級)
沐浴、妊婦体験など。 ※15日(金)までに要予約

■日時…17日(日)9時15分~12時

もぐもぐ教室
離乳食を始める生後4~6カ月の乳児と保護者の皆さんへ。
■日時…21日(木)10時~12時 ※14日(木)までに要予約

■持ってくるもの…筆記具、エプロン

すくすく(育児)相談
子どもの成長、母乳、離乳食、遊び、歯みがき、しつけ、トイレなど、気軽にご相談ください。身長・体重の計測も行っています。
■日時…20日(水)10時~11時30分
※母乳相談の受付は11時まで。別途フェイスタオル3枚持参。

■期日・場所…13日(水)/らくゆう館 ※要予約

ここにこども相談
ことばや行動、発達について、専門のスタッフが相談に応じます。
■期日…26日(火) ※要予約

乳幼児健診(対象者に個別で通知します)

【甘木朝倉地域の人】 ■場所…ピーポート甘木保健福祉センター

対象	期日	時間
4カ月児(令和5年7月生)	5日(火)	12時45分~
10カ月児(令和5年1月生)	6日(水)	
1歳6カ月児(令和4年5月生)	7日(木)	
3歳児(令和2年11月生)	8日(金)	

【杷木地域の人】 ■場所…男女共同参画センターあすみん

対象	日時
4カ月児(令和5年7・8月生)	13日(水)13時~
10カ月児(令和5年1・2月生)	
1歳6カ月児(令和4年5・6月生)	
3歳児(令和2年11・12月生)	

☎市健康課(☎22-8571)

おはなし会
各図書館で、絵本の読み聞かせのほか、わらべうたを一緒に歌ったり、みんなで手遊びをしたりします。

【中央図書館】
おはなし会(幼児~小学生向け)
■日時…毎週土・日曜日14時~ ※9日(土)を除く
ぴよぴよおはなし会(0~2歳児向け)
■日時…13日・20日(水)11時30分~

【あさくら図書館】
あかちゃんおはなし会(0~1歳児向け)
■日時…2日(土)11時~
みんなのおはなし会(幼児~小学生向け)
■日時…9日・16日(土)11時~
おひさまおはなし会(幼児~小学生向け)
■日時…23日(土)11時~

【はき図書館】
わくわくおはなし会(乳幼児向け)
■日時…26日(火)11時~

つどおう 子育て広場

親子が気軽に集い交流したり、育児相談を行ったりしています。詳しい内容や行事などはそれぞれの広場まで。

📍子育てほっとサロン「つどいの広場」(堤1413)(☎080-6439-1851)

📍生い立つ地域子育て支援センター(菩提寺606-1)(☎24-5203)

📍ひろにわ地域子育て支援センター(入地2607-1)(☎080-8352-4178)

Pick Up
📍楽しいクリスマスを迎えよう

一足早いクリスマスを、サンタさんと一緒に楽しく過ごします。マジックやお話もたくさん。サンタさんからのうれしいプレゼントもあります。要予約。

■期日・場所
①12日(火)・福田コミュニティセンター
②13日(水)・馬田コミュニティセンター
③21日(木)・生い立つ保育園

■託児…あり
☎市健康課(☎24-5203)

シリーズ 男女

ジェンダーギャップ指数を考えよう

ジェンダーギャップ指数をご存じでしょうか。

まず、ジェンダーとは「女性」「男性」の性別に対して、社会的・文化的に作られた性別のことです。例えば、「お茶くみは女性の仕事」「外回りは男性が向いている」など、慣習的に作られた「女性だから」「男性だから」という考え方が、ジェンダーに該当します。

次に、ジェンダーギャップ指数とは、世界経済フォーラムが公表している男女格差の度合いを示す指数です。「経済」「教育」「健康」「政治」の4分野で各国のデータをもとに評価し、国ごとのジェンダー平等の達成度を0（完全平等）から1（完全平等）の数値で表しています。

2023年の日本におけるジェンダーギャップ指数の総合スコアは、0.650、順位は146カ国中125位で、昨年から9ランク順位が下がりました。4つの分野別に見ると、経済123位、教育47位、健康59位、政治138位となっています。一方、アイスランドは12年連続1位で、最も男女が平等に近い国と言えます。また、多くの北欧諸国が上位にランクインしていますが、これは順位に



差が出やすい「経済」と「政治」の分野において、高いスコアを得ていることが要因と考えられます。言い換えると、日本は経済分野と政治分野での大きな差となっていることが分かります。

国は、ジェンダーギャップを改善するために、政治分野における男女共同参画の推進に関する法律、女性活躍推進法、ポジティブ・アクション、輝く女性の活躍を加速する男性リーダー会などの取り組みを行っています。

私たちがあらゆる場と機会において、社会的性別にとらわれない、男女共同参画の視点に立った意識で、女性が参画しやすい環境を作っていくことが、ジェンダーギャップ指数を完全平等化に近づける一歩となるのではないのでしょうか。

問 市男女共同参画推進室 ☎07595

今月の1枚 #あさくらいふ



緑と黄色のイチヨウ並木

撮影日:令和5年11月16日

朝倉農業高校跡地のイチヨウ並木。だんだん色づいてきましたが、緑のイチヨウも数本残っていました。季節の移り変わりを感じます。

あなたの写真を掲載してみませんか?

自然や文化など「朝倉の魅力を見つかる写真」を毎月掲載していきます。皆さんからの情報提供や写真の申込をお待ちしています。

掲載の候補となるのは次の写真です。

① Instagramで「#あさくらいふ」「#朝倉市」と付けて投稿された写真

② メール(jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp)で申込があった写真など

※メール申込の場合、氏名、連絡先、撮影場所・日時、写真に関するコメントを添えて申込ください。

※掲載する場合、ご連絡します。



広報文芸

俳句 (矢野俊一選)

日当たればみんな幸せ実南天 園児らの歓声響く芋畑

虫時雨明かり灯して本開く 共に古い禿頭白髪菊日和

濃紅葉へ虚子の足跡たどる旅 小春日に持ちよる一品味じまん

川柳 (お題「車」) (益永克之選)

年老いた車社会に身放され 逆走で免許返納迫られる

口車乗ったばかりにおおやけど 一昔汽笛鳴らして汽車の旅

信号無視車も凶器厳罰に 車窓からコスモス風に揺れなびく

【広報文芸応募方法】はがきまたは封書に三句以内(一人一通限り)と住所・氏名・電話番号(連絡の取れる番号)を記載し、12月8日(金)までに直接選者に応募。応募作品は、未発表・自身の作品に限る。応募の際は、今一度ご確認ください。応募は、俳句・川柳のいずれかひとつでお願いします。



地域おこし協力隊を紹介します

市の魅力発信&移住定住の推進

10月1日付で朝倉市役所のシテイプロモーション課に配属、地域おこし協力隊として着任しました安藤友和と申します。

私のミッションは、朝倉市が持つ豊かな自然や歴史、住民の人たちの魅力をSNSはじめ動画などで発信すること。そして、朝倉市に移住や定住を考えている人へのサポートおよび、推進活動となります。

朝倉市は、私の母親の故郷(筑前町)から近く、幼い頃はいとこと山や川で遊んだ記憶がたくさん残っています。そして、叔父が兼業で農家をやってきたこともあり、秋には新米を食べるのが楽しみで、とにかく

おいしかったことを今でも鮮明に覚えています。そんなゆかりのある地に、今回移住できたことをうれしく思います。赴任してから約2カ月。地域の人たちとお話しさせていただく機会も増え、少しずつではありますが、慣れてきたというのが感想です。

まだまだ未熟者ではありますが、自然豊かな朝倉の魅力をたくさんの人に伝え、地域の活性化に貢献できるように努めてまいります。市内各所で見かけた際は、気軽に声をかけください。よろしく願います。

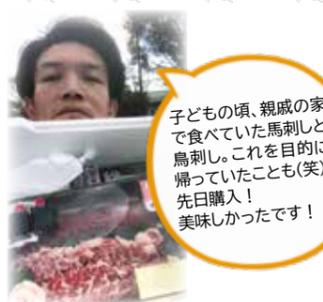


地域おこし協力隊員 安藤 友和 さん
ミッション: 移住定住とシテイプロモーション推進
出身地: 福岡市 趣味: 温泉巡り
特技: バスケットボール

地域おこし協力隊の普段の活動は、市HPから見られます。



朝倉への移住・定住を検討している人には、お試し居住がおすすめ。詳しくは市HPへ。



子どもの頃、親戚の家で食べていた馬刺しと鳥刺し。これを目的に帰っていたことも(笑)。先日購入! 美味しかったです!



▲移住して甘木公園を散歩。いい運動になりました。



南陵中学校地域文化発表会
誇りある伝統文化を受け継ぐ



11月8日、ピーポート甘木で南陵中学校の地域文化発表会が行われました。これは、生徒が地元で伝わる和太鼓、獅子舞、民話と方言、能楽を地元住民から直接学び披露する場です。

発表会は、和太鼓グループ「ザ・南陵魂」の力強い音でスタート。勇猛に舞う姿を見せた鶴木流・長田流の各獅子舞、地域に伝わる民話「入龍神社」「狐の嫁入り」の朗読、凛とした表情で舞った能楽の「羽衣」など、生徒の練習の成果が見事に披露され、観覧に訪れた地元住民や保護者から大きな拍手が送られました。

豊島与志雄顕彰会
偉人の功績を後世へ伝えていく

10月13日、福田コミュニティセンターで作家豊島与志雄(福田出身)の顕彰会が行われました。フランス文学「レ・ミゼラブル」を翻訳したことで知られる豊島与志雄は、児童文学作家としても活躍しました。顕彰会では福田小4年生22人が童話「狸のお祭り」の劇を披露。筑紫女学園大学名誉教授の永淵道彦さんの講演も行われ、郷土の偉人に思いを馳せました。

すべての人が一緒に競い合えるニュースポーツ
身障協ポッチャ大会

10月17日、朝倉体育センターで、身障協ポッチャ大会が開催されました。ポッチャとは、老若男女を問わず楽しめるニュースポーツで、パラリンピックの正式種目です。

今大会では、12チーム、計45人が参加し、視覚・聴覚に障がいのある人も好投を連発。予選から大いに盛り上がりました。

獅子乱舞
秋の大祭 蜷城おくんち



10月21日、美奈宜神社(林田)で無病息災と五穀豊穡を祈願する秋の大祭「蜷城おくんち」が行われました。

奉納された獅子舞は、蜷城地区に500年以上前から伝わる県指定無形民俗文化財。シュロから編んだ蓑をまとう2頭の獅子が、勇猛に境内を暴れまわり、息の合った獅子舞を見た参拝客からは、大きな拍手と歓声があがりました。

この日は獅子舞のほか、子ども毛槍、四郎丸太鼓、雅楽、舞姫なども披露。参道付近には出店も並び、市内外から訪れた人たちが大にぎわいでした。



秋月藩成立400年記念関連イベントが続々
今年は秋月が熱い!

10月15日、ピーポート甘木で秋月藩成立400年記念のシンポジウムが開催されました。日本経済大学の竹川克幸教授の基調講演のほか、「秋月藩立藩と長興の治世から未来を考える」をテーマに、将来への展望が熱く議論されました。秋月黒田家15代当主の黒田長幹さんは「黒田如水の水五訓の考えは、現代の私たちも大変参考になる」と400年前から続く黒田家の家訓を話され、人と水との関わり方を改めて見つめ直す機会となりました。

11月12日には、秋月地区で「秋月鎧揃え」が行われました。鎧揃えは、黒田長興が島原の乱への出陣前、正月三日に鎧揃え(軍事演習)を執り行ったことが由来。当日は、市内外からの参加者が秋月の歴史ある町並みを練り歩き、沿道では地元住民や観光客が写真撮影をする姿も見られるなど多くの人でにぎわいました。鎧武者の行列が行きついた先は、秋月藩成立400年記念の式典会場となった秋月中学校のグラウンド。式典では「光月流太鼓」の糸乱れぬ太鼓や「林流抱え大筒」の迫力ある演武、男子へ初めて鎧を着せる「鎧着初め之儀」などが披露されました。最後に上げられた勝どきで会場は一つになり、式典は幕を閉じました。



◀目鏡橋を出発した鎧揃えの武者行列は秋月街道を北上。静々と歩く中、時に「しかつとせい!」と勇壮な掛け声を上げ、軍団としての迫力や強さを見せていました。また、秋月博物館の広場では、同じく藩成立400年を迎えた東蓮寺藩(直方市)との文化交流の一環として「白岩踊り」も披露されました。

▲秋月藩で行われていた「鎧着初め之儀」。武家の男子に初めて鎧を着せることで大人になる覚悟をさせていました。

朝倉市指定無形民俗文化財
第39回 甘木盆俄保存公演

10月29日、ピーポート甘木で、甘木盆俄の39回目となる保存公演が4年ぶりに上演されました。

演題は、小学生による「白浪五人男」「甘木娘晒舞」や、創作歌舞伎「伊達模様甘木賑」、史実にもとづき秋月種実と豊臣秀吉の対立を軸に描かれた「秋月に消えた星(腹切岩物語)」。

また、秋月藩成立400年記念事業の一環として、「秋月に消えた星」の脚本に秋月黒田藩につながる場面を加筆。劇中に謡曲・仕舞、ひょうげ舞、日本舞踊などを盛り込んだ特別公演として上演されました。

上演中には、会場から掛け声があがり、詰め掛けた観客たちは、抑揚のついた長ぜりふや迫力ある演技、美しい舞に魅了されました。



▲左上から時計回りに、「白浪五人男」、「秋月に消えた星」、「甘木娘晒舞」

あさくらびと

地域で話題になっている人や団体、企業などを紹介するシリーズ。

第25弾は、「秋月藩砲術 林流抱え大筒保存会」の現会長であり、発足時のメンバーでもある木下章一さん取材しました。

Interview

秋月藩砲術
林流抱え大筒保存会 会長

きのした しょういち

木下 章一さん

朝倉市指定無形文化財である「林流抱え大筒」。

明治9年(1876)の「秋月の乱」の際、秋月党砲術隊長である中野五郎三郎が戦いに敗れ、傷ついて引き上げる途中、嘉麻市(旧嘉穂町)の縄田家にかくまわれました。そのお礼として、持っていた大筒を贈り林流砲術を伝授したとされています。現在は、縄田家から砲術を受け継ぎ、保存会が伝承しています。

(写真は保存会のメンバー。木下さんは前列左から1人目)

師範の技を100年先も

師範からの伝承

保存会の発足は昭和46年。きっかけは、林流抱え大筒唯一の伝承者である縄田勇造さんからの一言。「秋月藩ゆかりの大筒は、秋月の人たちに受け継いでほしい」という申し出からはじまりました。

当時、地域の人たちでも林流抱え大筒の存在を知っている人は多くありませんでした。しかし、秋月ゆかりの伝統を後世に伝えるため、私を含め地元有志たちにより保存会を発足。縄田先生からの指導を受けることになりました。大筒の長さは1メートル、重さは約30キロもあります。発射の反動と轟音はすさまじく、練習当初は後ずさりするほどでした。心得の一つに「心眼掌を一にし」とあります。心を落ち着かせ発射に集中するという意味の教えです。この心得や先生からの熱心な指導のおかげもあり林流砲術を身に付けることができました。

存続の危機から全国へ

保存会を発足して3年が経った昭和49年、縄田先生が亡くなりました。甘木市無形文化財に指定され、これからという時に師範を失い、一時期は保存会の存続も危ぶまれました。しかし、地域の人たちの支えや先輩たちの励ましの言

葉を受け、再び頑張ろうと決意しました。

当時、テレビ・新聞社からの取材などを受けていましたが、全国的にはまだまだ無名。そのため、全国的火縄銃保存会が集まる「種子島鉄砲まつり」や山形県米沢市の「上杉鷹山公まつり」など、全国各地のさまざまなイベントに参加しました。

今年も「種子島鉄砲まつり」に参加。抱え大筒のような迫力のある火縄銃は全国的に珍しく、周りの火縄銃保存会からは「林流砲術の後は演武しにくい」と言われることも。この大会への参加は、全国に林流抱え大筒が知られる良いきっかけになりました。

魅力と技を100年先も

林流抱え大筒は、一人で抱えて発射することのできる最大の鉄砲。大砲に限りなく近い鉄砲です。その魅力は、やはり音と衝撃。発射後の観客の皆さんから上がる歓声を聞くとうれしいです。

後継者不足などの課題もありますが、光月流太鼓・鎧揃えなど、他の保存会とも連携しながら今後も活動していきたいと思えます。縄田先生から受け継いだ技を、100年先も途絶えることのないよう保存会メンバー全員が一つになり伝承していきます。

秋月藩砲術 林流抱え大筒保存会

射ち納め・射ち初め

令和5年の射ち納めと令和6年の射ち初めを行います。ぜひお越しください。

■日時

《射ち納め》12月17日(日)14時30分ごろ
《射ち初め》1月8日(月・祝)10時30分ごろ
※時間は前後する可能性があります。

■場所…秋月城跡 梅園公園

☎ 秋月コミュニティ運営協議会(☎ 25-0458)



▲発足当時の写真(木下さんは前列左から4人目、師範である縄田勇造さんは前列左から2人目)。



▲市内含め全国各地のイベントで活動。

